

令和7年第12回定例教育委員会会議録（要旨）

開会日 令和7年12月18日
場 所 市役所406会議室
時 間 午後2時00分 開会

（出席委員）

湯原教育長、滝委員、鈴木委員、磯辺委員、村田委員

（欠席委員）

なし

（委員以外の出席者）

滝教育部長、岩間学校教育課長、鈴木生涯学習課長、石森図書館長、
小山教育総務課長、遠山教育総務課総務学務係長、長谷川教育総務課主任

（次 第）

- ・議 事 議案第28号 北茨城市立学校管理規則の一部を改正する規則について
 - ・報告事項 (1) 1月の教育委員行事日程について
-

（開 会）

教育総務課長

定刻となりましたので、湯原教育長よろしくお願ひいたします。

教育長

ただいまから、令和7年第12回定例教育委員会を開会いたします。

教育総務課長

続きまして、教育長より御挨拶と教育長報告をお願いいたします。

(教育長からの挨拶、教育長報告)

教育総務課長

ただいまの報告について、何か御質問等ございますでしょうか。

滝委員

今の中で特に、中一小での教育長さんの配慮がとてもありがたいなと思って聞かせていただきました。私はどちらかという、強引にというイメージが強い行政ですけども、子どもの気持ちを非常に丁寧に扱ってくれて、出向いて同じような説明をしてくれた。子どもたちにとっても非常にね、納得と。それから思いの温かさを感じたんじゃないかな、そんな気がします。ありがとうございました。

それともう一点なんですけれども、これもお礼というか。去年の取り組みで、電子黒板はね、去年1年ずっとどうなるんだろうという心配と、我々からのお願いとでずっと来ていたものが、実際にこの前学校訪問をして見せていただきました。想像していた以上に、子どもたちと先生、また教室のみんなが一体感を持って授業に取り組んでいるなと。GIGAスクール構想で、タブレットが一人1台配給になった。あのときもいいなと。これはリモート学習だったら最高だなと思っていたのですが、しかしあれはどうしても画面に釘付けになって、子どもも先生も。それぞれの一体感という意味から見ると、ちょっと物足りないなという部分があったのですけれども、今回の場合は大きなスクリーンにね、子どもたちの目も気持ちも集中してきて、先生とのやり取りも画面と目を見ながらできる。非常に効果的な展開ができてるなと思って、いい感じで見させていただきました。良いなと思うついでにお願いなんですけど、これを小学校の方にもね。低学年なんかは最高だよ。ちょこちょこ出てきて手で書いてみたりね。中学校以上に有効活用してくれるんじゃないかなと。そう感じています。

教育総務課長

そのその他、何かございますでしょうか。

(質問等無し)

それでは、ここからの議事進行については教育長をお願いいたします。

(議案第28号 北茨城市立学校管理規則の一部を改正する規則について)

教育長

それでは本日の議事に入ります。議案第28号について、担当課から説明をお願いいたします。

学校教育課長

(議案第28号 北茨城市立学校管理規則の一部を改正する規則について、説明。)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、御質問等がございますでしょうか。

磯辺委員

茨城新聞に水戸市の事で同じようなので載っていたと思うのですが、狙いとしては水戸市の場合は夏休みを長くするというものもあったとは思いますが。やっぱり働き方改革が念頭なんですかね。

学校教育課長

働き方改革等も含めてございますけれども、まず新年度の準備期間をしっかりと確保する、というところが大きな理由でございます。土曜日、日曜日を挟んでしまいますと3日間で新年度がスタートするという現状もございますので、最低でも4日間を準備期間として設定いたしまして、ゆとりを持って新年度を迎えたいという思いです。

教育長

その他ございますか。

(質問等無し)

無いようですので、議案第28号について賛成の方は挙手を願います。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員により、議案第28号については可決いたします。

(報告事項(1) 1月の教育委員行事日程について)

教育長

それでは報告に移ります。1月教育委員会の行事日程等について、教育総務課から説明をお願いします。

教育総務課長

(教育委員行事日程について、説明。)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、何か御質問等ございますでしょうか。

(質問等無し)

それでは5のその他に入ります。その他で何かございますか。

生涯学習課長

(部活動の地域展開の現状について、報告。)

滝委員

なんか、すごい進んでるなっていうイメージがまず第一ですね。いろいろな市町村の情報を聞くと、市教委は協議会は作っているのだけれど、調整役にとどまって、全然動いてくれないんだと。そういった市町村もあれば、こういうふうに市教委が音頭を取って協議会を進め、これだけまとまってきたというのは、そういった市町村にとっては羨ましいだろうね。これから先、市教委のポジションっていうことはあると思うんですけども、新しくできた団体もあるだろうし、今までの学校の部活動にある意味吸収されてといった、いろいろなケースがあると思うのですけれども、これから先も市教委、生涯学習課だと思うのですが、音頭をとっていく方向では間違いないですか。

生涯学習課長

今のところ、平日の部活動はまだ残るんですね。引き続き休日に関しては、生涯学習課で調整しながら進んでいるところです。

滝委員

その中でずいぶん話題になっているのは、これはネットなんかで見たのだけれども、やっぱり保護者の都合。これは経済的なものもあるし、それから仕事が忙しい、送り迎えの移動手段ですね。そういったものもあるし、保護者の都合で子どもの活動や希望が

通らないというか、できない、ということはかわいそうだなと思うので。その辺りこれから平日を視野に入れていくということを考えると、土日だけなら1週間に1回だから送って行けるとか、うちが送ってくよとか、そういうやり取りはできてるんでしょうけれども。これから先を考えたときに、その移動手段ということと、その経済的な援助というか、そのあたりを大事にさせていただければなっていう感じがしてます。それと、北茨城はニュースポーツなんて希望は出てこないんですか。

生涯学習課長

ダンスとかそういったものも検討していきたいと考えています。

ニュースポーツ教室が1月にも開催予定で、もしそういった競技も地域展開へという話があれば、広げていくようなこともあるのかなと思います。

滝委員

スケートボードを元華川中でやっているし、周辺でダンスなんかもすごい流行ってるようだといった話があったんだけど、希望が出てきたときにどういうふうな対応をとるんだというのを一つ。姿勢として、ね。

生涯学習課長

この他に今考えられているのが、弓道とかダンスですかね。それも今後できる人がいれば、そういう地域クラブをどんどん増やしていくというのは考えています。

滝委員

弓道も弓道場があるしね。

村田委員

民間の企業というのは、どのような事に対してサポートをしてくださる予定というか、何か見通しがありますでしょうか。民間の企業が名乗りを上げてくださってるという御報告が今あったんですが、これは特に、何かに特化したものになりますか。

生涯学習課長

吹奏楽ですかね。民間の団体でやってもいいですよといったお話を受けているところでございます。

鈴木委員

保護者や生徒への説明は、先生なのか、教育委員会なのか、それともこの地域クラブを担ってくれてる指導者なのかっていうところで、どなたが責任を持って説明をする約束になっているか教えてもらってもいいですか。

生涯学習課長

保護者への説明につきましては、その学校から案内してるというような内容になっていきます。

鈴木委員

それは、説明をしましたというふうに、市の方に連絡が来るようになっていきますか。私はちょっと正直、保護者と子どもと今動いてる子との温度差があるなと感じるときがあって。やっぱり分かっていない方もたくさんいて、手紙は届くけど手元に届いてない方もいて。そこをどういうふうに周知していくのが一番大事なのかなと思うことがあるんですけども。分からない中で子どもは加入しますか、しませんかといった手紙をもらってきて、それに返事をして、先生に出す子もいれば、その手紙すら届いてない保護者もいてというのが実は現状かなと私は思うんですね。保護者のレベルですけど。なのでここまで整えてもらっているけれども、この状況を知らない保護者も多分一定数はいて。どのぐらいの子が部活動をやってる、何名が加入するということに動いてるのかというところを数字的に知りたいなという気持ちも正直あるんですけど。知らずに入っていない子もいるし、いろいろだとは思いますが、数字が分かれば教えてください。

生涯学習課長

12月で分かっている段階ですと、地域クラブは約300人ですね。全体の部活動に入ってる人数が約700人なので、大体半分弱くらいです。

鈴木委員

700人は平日活動してるけど、地域クラブに入ってる子が半数だっていうことですね。

生涯学習課長

ただその700人というのは、3年生も含めた形で押さえた数字なので、3年生が抜

けて、その後1、2年生が地域クラブに申し込みっていうのが今240人ぐらい来ている状況です。

滝委員

それはある程度しっかりした数値を掴んでおく必要があるね。先ほどの話じゃないけれども、場合によっては保護者の都合で遠慮しちゃってる、本当はやりたいんだけども遠慮してるっていう子もいないとも限らないので、個別の調査をかけておく必要があるような気がするな。

生涯学習課長

そうですね。実際の希望を把握するため、個別に意向を確認する調査を検討していきたいと思います。また、学校の専門委員や種目別専門委員の方々を通じて、関係者への周知を図ることを検討していきたいと思います。

鈴木委員

組織的にはすごくしっかりと保護者まで連絡が行くようになっているのは感じるんですけども、それが実際学校の現場に行くと、知らない方も多数いらっしゃるなというように感じるところも正直あって。でもそれってこのことだけではなくて、全てにおいてそうなので。地域展開がどうこうといった話ではないとはもちろん思うのですが、その中で実際平日はやっているけど休日やらない子があまりに多いとなると、それはどういった理由でそういうなってるのかな、というところがあります。

生涯学習課長

あくまで強制ということではないので。部活をやっている方、例えばテニスをやっている方がそのままテニスをやらなくてはいけないということではないんですね。あくまで土日は部活動と切り離れたイメージで考えてもらえれば。その部活をそのままスライドしてやらなくてはならないといったことはないんです。8年度からは部活は土日はないですよという話で。この話は地域クラブの話で、土日に空く時間をスポーツでも何でもという話なんで、部活がそのまま移行するといったことはないんですね。

鈴木委員

そこの考え方にちょっと、差があるのかもしれないです。

村田委員

それが大きいですね。

鈴木委員

保護者の方とね。

生涯学習課長

中には土日はやりたくないと言った人もいますよ。そこは私たちからは何にも言えない。

滝委員

一度県からパンフレットというかリーフレットが出たよね。選択肢がいくつかあってとか。同じ部活をやりたい、別な種目をやりたいとか。

生涯学習課長

8年度からは例えばテニスをやっている人がサッカーをやってもいいし。今は駄目なんです、サッカーはサッカーっていう。自分は何もやりたくないとか。

滝委員

そういうパンフレットが出たんだよね。

生涯学習課長

そうです。だからバスケをやっている方が今度はテニスでもいいし、さっき言った弓道をやっても。体験する場を作りなさいというのが国の方針なんですよね。

鈴木委員

お話を聞くとすごく納得するんですけど、それが浸透してないのはどうしたらいいのかというのが正直あって。

生涯学習課長

個別にこちらで顔合わせということで、地域クラブの指導者と学校の顧問の先生と市教委で話をして「こういうふうに進めていくんですよ」という話をして、生徒についてはその部活の顧問の先生から話してくださいということになっています。

鈴木委員

分かりました。中体連の大会との兼ね合いはどのようなふうに調整しているとかはあるんですか。教育委員会の方で、中体連はもう中体連として大会のルールを決めて、地域展開のクラブとはまた別に。保護者の感覚だと一緒の感じがあるのですが、地域展開でも同じ部活をやっている、そのまま中体連の大会に出ていくというような感覚がやっぱり残っている。

生涯学習課長

平日は部活という形は残ります。あくまでも休日は部活とはまた違うので、種目によっては出られるケースもありますが、ハードルが高いといった話を聞いております。中体連の大会に出る場合には平日の部活から出場するということになります。

滝委員

ゆくゆくはクラブチームが全て音頭を取って、計画をして、お金なんかも集めて、これが主催するような方向性ではいるのだけれども、今現在ではできないんですよ。人材も足りない、お金も足りない、物も足りない。そういうことで、学校の部活動の先生たちに、この運営の部分で協力してもらおうというのが、今現在の状況なんだろうと。本当はゆくゆくはクラブ主催になる、主体になるけども今はまだ中体連のものを残して、協力してやっていきましょうよと。高校なんかは、もう完全に学校名でないと大会に出られませんと。その高体連が頑として譲らないからそうなっているけれども。中学校は、しばらく一緒に作っていければ。そんな感じにいるようですね。

生涯学習課長

当面は学校で部活動を継続しますが、国の方針により将来的には地域展開へ移行します。当市では、令和8年度以降、休日の学校部活動は原則として実施しない方針です。

教育長

なかなかここで理解していただくことはね。全保護者にとすることは難しいのかもしれないですけど、そういうお話があった以上は、どういうふうにしたら一人でも多くの方に分かってもらえるのかということとを学校も含めて考えていく必要があるのかな。様々なことをね。

その他で、ありますか。

教育総務課長

(第3回学校の在り方検討委員会について、報告。)

教育長

ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。

(質問等無し)

その他ございますでしょうか。

教育部長

(第4回市議会定例会の内容について、報告。)

教育長

ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。

村田委員

風船爆弾の映画が上映されたとき、1日に3回上映があったんですが、そのときに子どもたちがそこに触れる機会を作る、ということまではいかなかったのでしょうか。

生涯学習課長

そのときに、広島の旅で作った掲示物をそこに貼り、一緒に開催しました。参加した方が5名ほど、風船爆弾のところまで来て見ていただきました。

教育部長

広島に参加した人ですね。ホームページにアナウンスはしてるので、それ以外には市報等でのアナウンスに留めております。

村田委員

そういう機会に子どもたちに、なかなか全員っていうのは難しいのですけれども、そういう取り組みもできればいいのかな、と思います。

教育長

その他、ございますでしょうか。

滝委員

いますぐという話ではないんだけど、質問が出た中で、中郷中、中一小ができるときに、中二小、石岡小もなんていうことが文裕議員から出た。検討委員会も、そっちに近い考えを持ってるんですかね。今後、検討委員会にどこまで任せるかとか、その線引きは非常に難しい問題かと思うんですけども。上層部も考えがあるでしょうし。方向性として例えば磯原地区、それから大津地区ですか。ぶっちゃけた話っていうとおかしいんだけど、どんなことを想定してるんでしょうかね。それによって、何もない段階で検討委員会に全てっていうわけにはいかないでしょうから、ある程度基礎的な考え方や意向があって、という流れかなとは思うんですけども。

教育部長

あくまでも、在り方検討委員会は基本的に自由に意見をいただく。専門家の方、大学の先生、あとはPTAと学校の先生もいますので、いろいろな見知からいろいろな意見をいただき、そしてそれを集約していく。その次の段階としては、そのいただいた意見をもとに、教育委員の皆さんも含めて、どういった方向性がいいのかということを検討していく流れになると思います。ですので、今回の在り方検討委員会が全てではなく、貴重な意見として、我々の今後の判断材料にさせていただきたいと思います。

滝委員

現実問題として、市内の出生者が140人という数値があったようですけども、そうすると一般的な大きな学校では、その学年は一つの学校で済んでしまう。それを今現状のように、11学校、2クラスあるのが2校ですけども、これ、保たないなというのが正直な気持ちで。これは行政の立場からしてもそうだし、保護者、子どもの側に立っても、非常にそんなにのんびり構えてられるかっていう心配がありますよね。今回のその他のところに出てくるいろいろな問題も、場合によっては学校って「これとこれ、もうどうしようもないからクラスを分けてやれ」とか。「この先生とこの親は絶対合わないから絶対外してやれ」とかね。そういうふうなことが非常に管理職としてはやりづらい状況が今できてるな。もうそれしかないんですけどね。「もう駄目だから、新しく来た人を担任に当ててやれ」とかね。そういうふうな流れになってしまったならば、なんか、難しい状況が続くなど。すごく、そういうことも考えて、統合なり、少しでも早い段階で進めてあげないと難しいだろうなど、そんな感じがしてますね。

村田委員

今、先生と親がうまくいかなくなったらもう他に選択肢がないんですとか、おっしゃっていますけれど、子どもにとってもなかなかクラス替えもなく、ずっと同じで、一度つまずいたらもう学校に来られなくなってしまうという、不登校の原因の一端にもなるのではないかなという心配もあります。滝先生のおっしゃるとおりに、残念なことに加速度的に人口が減ってしまっているのです、構想から本当に実現するまでって、おそらく想像以上の年月がかかると思います。今ありましたように早めにいろいろ、いろんな角度から考えながら、迅速に進めるべきではないかと思っております。

教育長

その他、ございますでしょうか。

磯辺委員

別の点からいいですか。中郷中の授業を見させていただいて、ありがとうございます。ずいぶん授業が変わっているなという感想を持ったのですけれども。二人の先生はああいった授業に長けている先生方かなと思って見てはいたのですが。できれば、せっかくお金をかけて買ったものなので、中一小の教務主任が中心になってやっているとは思いますが、もっと使うことを広げられる形をとっていただければなど。小学校の授業はどうなっているのかなと思うし、他の学校はどうなっているのかなというのも思うし。同じ中郷中でもまた別な捉え方もあるとは思いますが、もっと良い使い方をできるように指導していただければなどというふうに思います。

それから二つ目は、生涯学習課の事業が続いて大変だなんていうふうなことを思っているのですが、前日にも課長さんとお会いして、落ち葉掃きを一人でやってるような状況も見受けられたんでね。事業は大変だったかと思うんですが、本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。以上です。

教育長

その他、全体を通して何かありましたらお願いします。

(質問等無し)

(閉 会)

教育長

以上をもちまして、令和7年第12回定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後2時55分